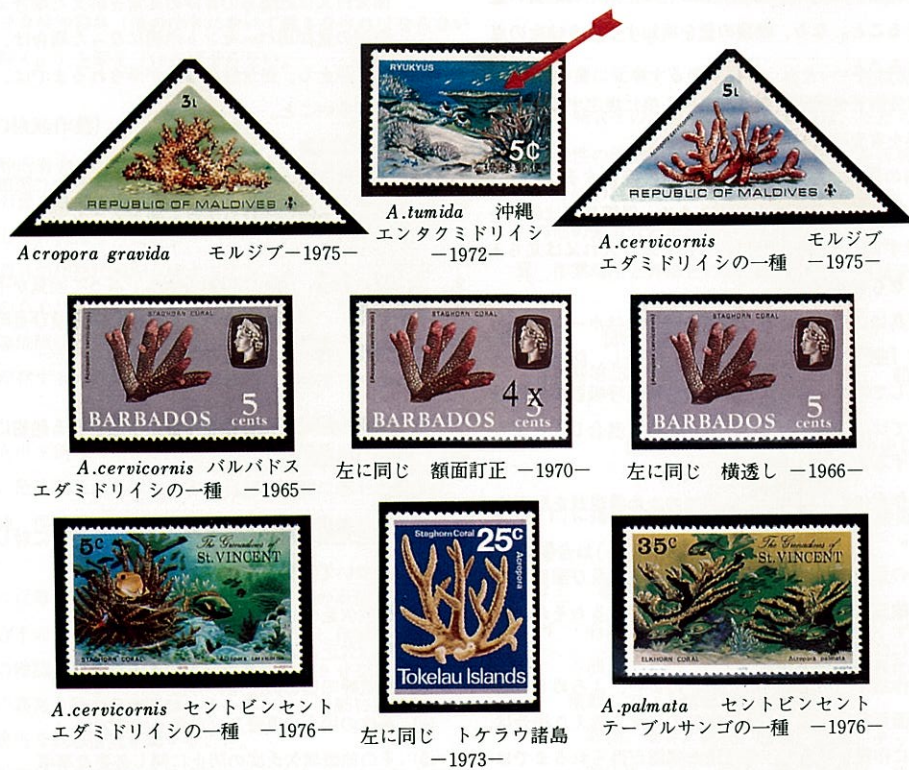


ミドリイシ類

分類：イシサンゴ目 ミドリイシ科(花虫綱 六放サンゴ亜綱)
 学名：各項に記載
 英名：Staghorn coral, Elkhorn coral

サンゴ礁は赤道を中心とし、南北緯30度即両回帰線の内側に発達生育する。ミドリイシ属は現生のサンゴ礁で最も繁栄しているグループでサンゴ礁の海岸線に近い浅瀬に密集し、ミドリイシだけの純群をつくることもあるが、一般に他のサンゴ類に混って生育する。ミドリイシの群体の色彩は青、紫、紅、緑、褐色等多彩でその枝の先端は全く別の色彩をもっているものも多い。環境の変化につれ群体の形は左右され波の荒い外海は太く頑丈で波の静かな内湾のものは細く脆弱である。高い水温と強烈なる日光の照射が生育の必須条件で成長の早さは水温及種により区々であるが1年に約10cm位生育する。日本沿岸のミドリイシ属は紀伊半島以南に分布するが、僅かに伊豆半島にも見られるものもある。



キクメイシ類

分類：イシサンゴ目 キクメイシ科(花虫綱 六放サンゴ亜綱)
 学名：各項に記載
 英名：Brain coral (ノウサンゴ)

ミドリイシ類が純群又は他のサンゴ類と混じってサンゴ礁を造礁するのに比し、キクメイシ類は単体の団塊状で骨格表面はポリブを収める谷が脳面や菊花状で複雑なものが多い。これらの巨大な骨格は各個1体のつくる無数の骨格からなり、ごく接近して多角形の莖が連なった塊状や盤状の群体をつくる。いずれの切手のものも共肉が生き生きと骨格を被ってはいるが、夜間にはポリブの触手がのびて別のような形に見える。分布はミドリイシ類と同様、伊豆半島以南で赤道を中心とした両回帰線の内側に多数分布する。ミドリイシ同様高水温と強烈なる日光が必要で水深40mを越えるところや砂泥質の海底には生育しない。

